

令和6年度 奈良市子ども・若者支援地域協議会代表者会議 議事要録		
開催日時	令和7年2月26日（水）午前10時00分～11時30分	
開催場所	奈良市役所 B1会議室	
議題	(1) 令和5・6年度の事業実施報告について (2) 令和7年度の取組について	
出席者	委員	生田委員、井本委員、稲葉委員、奈良県教育振興課 林 課長補佐（森本委員代理出席）、阪口委員、藤岡委員、上南委員、若林委員、嵯峨委員、伯耆委員 【委員11名中10名出席】
	事務局	【福祉部】 福祉政策課長、課長補佐、係長、係員 【奈良市社会福祉協議会】 奈良市若者サポートセンター「Restart なら」
開催形態	公開（傍聴0名）	
担当課	福祉部福祉政策課	
議事・決定事項		
1 開会・委員紹介 2 案件 (1) 令和5・6年度の事業実施報告について (2) 令和7年度の取組について 令和7年度は令和6年度に引き続き、ひきこもり早期予防に向けた取組として、実務者会議において教育委員会やこども未来部と義務教育段階における連携について協議を行う。また、地域の居場所におけるマッチングとマッピングの方法の検討も併せて行う。		
〔質疑・意見の要旨〕		
・ 不登校やひきこもりに対しては、幼少期からの関わりや早めのアプローチが重要になる。ペアレントトレーニングのような保護者と子どもの関係性の築き方や家庭の居場所の形を一緒に考えていくことにより、15歳以上のひきこもりが少なくなっていくのではないかと。 ・ 義務教育終了時の連携が大きな課題である。保護者や子どもに限らず各学校までリスナラ存在が浸透するように周知方法を検討していく必要があるのではないかと。 ・ 居場所サミットの成果やマッピングの今後の見通しはどのように考えているか。 →居場所活動者同士の交流が深まることにより地域のネットワークが構築に繋がり、居場所を必要とする人にとってより多くの選択肢がある状況になることを期待している。 居場所活動者同士の交流を図るとともに居場所資源の情報更新の機会として活用できるような展開を今後考えていきたい。 マッピングについては、居場所サミットでいただいた各居場所の情報や特色を踏まえ、令和7年度の1年間をかけて具体的な内容を検討していく。		